

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	1290900651		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	ガーデンコート前原東 (2階)		
所在地	〒274-0824 船橋市前原東5-42-35		
自己評価作成日	平成28年1月20日	評価結果市町村受理日	

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立度が高い環境もあり、過度なケアはせず主体性を重んじたケアの実施</li> <li>・施設のような雰囲気ではなく、家庭の雰囲気を大切にしたい住環境</li> <li>・1日1笑をモットーに、その積み重ねが最終的に充実した時間を過ごす</li> <li>・ご家族様との絆の橋渡しであること(連絡を密に取りあい、月1回写真の送付など)</li> <li>・運営推進会議</li> </ul>
--

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階		
訪問調査日	平成28年2月12日		

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

<p>「お客様、スタッフ共に楽しむ」をホームのスローガンとし、一日ひと時間、利用者と共に笑う時間を持つ事をテーマに取り組んでいる。開設後1年が経過する中で、特に地域住民の方との連携強化に取り組むほか、運営推進会議を通じて地域の方にホームの取り組みや運営状況を分かりやすく説明し、地域の協力が得られるように取り組んでいる。その成果もあり、地域の方から利用者の紹介を受けたり、ボランティアとして協力を得ることができる等、地域との関係も良好である。今後は利用者の活動の幅を広げていく事や生活基盤の確保、職員の知識や技術向上に前向きに取り組んでいく事が確認できた。</p>
--

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通じて、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社是、経営理念、心得の唱和を毎日実施	会社の社是、心得、経営理念を毎月の拠点会議時に唱和をするほか、「お客様、スタッフ共に楽しむ」をホームのスローガンとし、一日ひと時間、利用者と笑いあえる時間を持つ事をテーマに取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事、地域での買い物など通して地域社会との繋がりを確保している	近隣神社で開催される季節行事や小学校の夏祭りへの参加等、地域行事への参加のほか、近隣の方がボランティアに訪れたり、利用者の紹介を頂く等近隣住民とも良好な関係が構築できている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	散歩、運営推進会議などを通じて事業所を認知していただき、ご近所の紹介でご入居まで至ったケースもある。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	報告内容に力を入れ、ご意見に関しては特に頂戴することなく概ね満足していただいています。	運営推進会議には町会長、長会組長、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、系列事業所の所長、家族の参加を受け2ヶ月に一度定期的を実施している。ホームの現状報告のほか、参加者からの意見も取り入れ、サービス向上につなげる事ができている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センターとの密な関係を築き、紹介や相談をいただく事が多くなった。	運営上疑問が生じた際やケアプランの作成方法など指示を仰ぐ必要がある際には、市の担当課に連絡を入れ助言を受ける事ができている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束ゼロが基本。ベッドから転落のおそれがあるならば、床にマットレスを敷いて拘束することなく対応している。	身体拘束の廃止に向け、開設前の職員研修で職員に周知している。現状玄関の施錠を含め、身体拘束につながる事例は無く、身体拘束をしない工夫についてを運営推進会議でも報告している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の為、お客様の言動や行動に合わせてスタッフが変わっていくように指導している。		

グループホームガーデンコート前原東(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人がついたお客様もあり、お客様の権利に関しては学ぶ機会も多く、得た知識で他のお客様にもご提案をしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	しっかりと時間を取り、読み合わせながら説明している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	お客様アンケートの実施	家族からの意見や要望については面会時のほか、ケアプラン説明の際に個別に確認している。また運営に関する内容については、年に一度お客様アンケートを実施し、運営に関する意見等を家族から収集している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	従業員アンケートの実施	現状、3ヶ月に一度のペースで管理者と職員間で面談の機会を設け、意見や要望等を個別に確認している。また、定期的に拠点会議を開き、利用者への支援方法や業務改善に関しての意見等を収集し日々の取り組みに活かしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人面談の実施		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修計画に沿った研修の実施		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	介護支援専門員協議会、グループホーム協議会などへの入会		

グループホームガーデンコート前原東(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントをしっかりと行い、入居後はコミュニケーションに力を入れて人間関係の構築に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス担当者会議をしっかりと行い、入居後はコミュニケーションに力を入れて人間関係の構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントをしっかりと行い、入居後はコミュニケーションに力を入れて人間関係の構築に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	過度のケアは避け、出来ることはどんどんやっていただけようように取り組みをしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	絆の橋渡し役を担う意識のもとでご家族様との連携を図っています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会などの制限は設けず、時間に関しても事前にご連絡いただければ早い時間、遅い時間に対応しています。	利用者の友人の来訪を受け入れるほか、家族と外出できる機会もあり、馴染みの場所に出かけられるように支援している。具体的な取り組みとまでは至っていないが、馴染みの場所や人との関係が途切れないような支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションを一緒にやる、散歩を複数で行くなどの取り組み。車椅子を介助したりもします。		

グループホームガーデンコート前原東(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	昨年夏に一度破談になったお客様が冬にご入居しました。話をシャットアウトせず、いつでもご相談くださいと連絡をしていました。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントでは本人の希望を必ずヒヤリングし、困難な場合はご家族様の希望も考慮しながら本人の生活イメージをしている。	利用者からの意向については、日頃の会話や表情から一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、またご家族等の協力を仰ぎその把握に努めている。困難な場合は、ご家族に相談の上、ご利用者本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	現在、過去の担当者にヒヤリングし面談では知りえない情報を聞くようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	同上		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	原案の作成をしてサービス担当者会議に臨んだり、その場で作り直ししながら作成している。	アセスメントにおいてご利用者の現状及び課題を抽出し、担当者会議、ケアカンファレンスにおいてご家族、職員から意見を収集し、ケアプランを立案している。ケアプランの状況は毎月モニタリングを行い、目標の達成度を確認している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌、個人記録を参考に現場の意見もヒヤリングしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	自由な発想をしてもらい、実現できるか否かに関しての協議を管理者、CM、ケースによっては現場スタッフで検討している。		

グループホームガーデンコート前原東(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	社協が主催する地域サロンへ参加		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の内科往診が基本。その他必要に応じて通院支援をしております。	月2回、提携先医療機関による往診を受けられる体制を築き、必要な医療が受けられるように支援している。入居前のかかりつけ医を継続する事も可能である。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護事業所に係っていただいたケースが1件ありました。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	適宜連絡を取り、入院中は勿論、退院までの支援に取り組んでいる。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居ご契約時にご説明はしているが、仮にガーデンでみれない方がいたら、ご家族任せにせず最後まで携わるように意識している。	重度化や終末期に向けた方針に関しては、入所契約時の早い段階から事業所でできることを説明している。ホームで生活していく中で重度化が見られる場合は、ご家族、主治医を交え、今後の支援方針を検討することとしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急連絡網に従って行動するように周知している、		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の訓練の実施。	平成27年9月に夜間の火災を想定した避難、消火訓練を実施している。ホーム内はスプリンクラーの設置のほか、火災機器の取り扱いについてもオープニング研修で実施している。また、広域避難場所についてもホーム内に掲示している。	今後に向けては、災害に備え備蓄品を整備できると良いであろう。水や食料など必要物品等が整備されることに期待したい。

グループホームガーデンコート前原東(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	過度な敬語は使っていないが、その場に求められる、必要に応じた言葉遣いをしている。	ホーム内において「接遇・マナー研修」を実施し、利用者に対して適切な対応が図れるように取り組んでいる。居室への出入りについてもノックをする事や一声かけてからの入室を徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	選択してもらうということを基本的なアプローチとして意識している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様が主体であることを研修等で周知している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	柄のついた洋服、髪型など見た目も清潔に保ちながら支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	できることはどんどんやっていただくということで、食器洗いや料理も手伝っていただいている。	可能な方には食事の準備にもかかわって頂き、職員と一緒に食事の準備や後片付けを進めている。食事を楽しむ工夫ではお皿やランチョンマットを工夫したり、ホットプレートを使用しておやつ作りなども取り入れている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は朝、夕時に報告をもらい、その様子も報告してもらうようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、朝食後、昼食後、夕食後、就寝前と口腔ケアを実施している。		

グループホームガーデンコート前原東(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	時間介助の方もいるが、基本的にははしたい時に誘導し、排尿排便の間隔の管理をしている。	利用者一人ひとりの排泄状況を排泄チェック表に記録し、職員間で把握している。排泄の介助では一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、定時の声かけや誘導によりトイレで排泄できるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝ヨーグルトを飲んでいたが、現在は水分を多くとりながらお薬でのコントロールをしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	曜日は決まってしまうが、入る時間帯には幅を持たせている。	入浴は、利用者一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2~3回入浴できるように支援している。入浴中は職員が介助につき安全面に十分配慮している。入浴剤の工夫や冬至のゆず湯なども行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝る時間も特に定めず、お客様主体で動いている。ただし、昼夜逆転など防止の為、時間で誘導する方もいる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時には薬剤師の同行をお願いし、担当ケアマネージャーも交えて意見交換をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外出支援、行事、誕生会など工夫をして不定期に変化をつけている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物に付き合っただく形で車で一緒に買い物に行っている。また個別でも対応している。	天候のよい日にはホーム周辺の散歩にお連れしたり、地域行事への参加や公園、資料館への外出なども取り入れ戸外にでかけられるように支援している。また、家族の協力を得て利用者と一緒に外食に出かける等の取り組みもあり、家族の協力を得ることができている。	

グループホームガーデンコート前原東(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お預かり金の中で訴えに応じている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取次ぎ、手紙が届けば本人にお渡ししている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設っぽくない演出は意識している。	共用の空間は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、行事や季節に合わせて装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れ居心地良く過ごせるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	無理強いせず、お伺いした上で本人の意思を尊重している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	お部屋は本人、ご家族様の好みで持参していただいております。整理整頓は職員の仕事です。	居室は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのものの持ち込みを可能とし、利用者が居心地よく過ごせるように配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	できることはどんどんやっていただくということで、役割を見出す、もしくは自ら見出すことで自然と役割分担ができています。		